



学校教育目標 社会に貢献しながら、  
自立する生徒の育成  
～気づき、考え、実行する～

# やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある  
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を  
解決するための「連携・協働」を推進する

## 3年生に贈る会！

### 中学卒業の日まであと僅か！

2月10日(月)、「3年生に贈る会」を実施しました。実行委員長の加藤陽万さん(令和7年度生徒会長)は「3年生にとっても、1・2年生にとっても、思い出に残る会にしたい」と語ってくれました。みんなで、3年生に“感謝”の気持ちを伝える会を創ろうと、精一杯取り組みました。その甲斐あって、素敵な心温まる時間を過ごすことができました。

当日は、本年度、最終の授業参観日(及び学年部会)とし、多くの保護者の皆様にも参観いただきました。ありがとうございました。アンケートを実施したところ、たくさんの感想をいただきました。今回、その一部(できるだけたくさん)紹介します。



#### ●1・2年生の太鼓(富士三段返し)

・文化祭の時からパワーアップして、気持ちのこもった演奏でした。1・2年生の成長、逞しさを感じることができました。3年生それぞれの背中に、心に、在校生の思いが痛いほど伝わったことと思います。

・一人一人が、自信を持って迫力ある太鼓演奏をしていて、感動しました。

・近くで演奏を見ることができ、迫力がありません。

・しっかりと伝統を引き継いだ立派な演奏でした。途中工夫もされており、在校生らしさも感じました。

#### ●合唱「越えてゆけ」・「サザンカ」

・子供たちの合唱、先生方の合唱、どちらも感動しました。子供たちは先輩への感謝の気持ちが、先生方からは次のステージへの応援の気持ちが伝わりました。

・生徒の合唱は声が出ていてよかったです。先生方の合

唱はレアだったし、歌詞を読みながら涙が出ました。

・3年生、私たち保護者にとって、思い出の一曲です。ピアノの伴奏から始まり、出だしのフレーズを聴くだけで、グッと込みあげるものがある、大切な曲です。いつも思うのは、人数や出来不出来は関係ない、伝える気持ちそのものには何の差もないのだと、道志中の皆さんを見ていて感じます。とても素敵な合唱でした。

・先生が語りかけるように合唱している姿が、とても印象的で素晴らしかったです。

・応援してくれる気持ちが伝わって、嬉しかったです。

#### ●スライドショー

・「懐かしい」…この言葉に尽きます。入学してからこの3年間、子供とともに走り抜けてきた毎日が頭を、心をよぎりました。成長を感じられて嬉しいなあと、そして育った子供たちを見て、寂しいなあと、あっという間だった3年間を振り返る、素敵なひと時になりました。

・1年生から3年生までの色々な思い出や成長している姿を見ることができました。

・3年間の早さを実感し、心に沁みました。

・素敵な選曲で、とても感激して何度も涙が出ました。3年生の仲のよさが伝わってきました。

#### ●全体について

・贈られる側としての今日。いざこの日が来しまうと複雑な思いでした。しかし、在校生の逞しい姿に安心感と後輩の皆さんと3年生の今日までの強い繋がり、絆を感じました。お互いに悔いなく、気持ちのよい卒業式を迎えることを願っています。

・何度も涙するような素晴らしい会でした。見に来て本当によかったです。

## 合唱曲 越えてゆけ

冒頭、夕暮れにひとり風に吹かれているような、歌詞とメロディー。作詞・作曲は、弓削田健介さんです。

たくさんの思い出が詰まったこの場所を、旅立っていくのは寂しいことかもしれませんが、それでも、未来に向かって、しっかり歩いていこうという強い決意が歌詞には込められています。不安もワクワクも様々な思いがめぐるこの時期に、まさにぴったりの1曲です。